

日本転倒予防学会誌

第3巻 第1号 2016年6月

目次

- 3 原著 転倒の内的要因分析に基づく転倒頻度予測手法の提案
二瓶 美里 岡田 哲明 鎌田 実
- 13 報告 若年健常成人を対象とした後方・前方2ステップテストと後方・前方歩行速度との
関連性について
兎澤 良輔 宮島 恵樹 平野 正広 川崎 翼 勝木 員子 遠藤 元宏
高木 亮輔 加藤 宗規
- 19 報告 転倒により傷害を負う患者の特徴
—回復期リハビリテーション病棟における調査—
渡部 喬之 迫 力太郎 長島 潤 鈴木 久義
- 25 会告 転倒予防のための介入研究と観察研究による論文の投稿時におけるチェックリストの
添付について
上岡 洋晴
- 26 日本転倒予防学会より
26 報告 第2回転倒予防指導士基礎講習会 29 報告 転倒予防フォーラム岩手 2016 in 北上
31 お知らせ 34 第7回理事会議事録 36 会則
38 役員および評議員の選出および任期に関する細則 39 名誉会員名簿 役員・評議員名簿
40 賛助会員一覧, 施設・団体会員一覧 41 『日本転倒予防学会誌』投稿規程・執筆要項 他
50 編集委員会 51 推奨品登録企業一覧



日本転倒予防学会

シンボルに込めた想い

ゆらいでも決して倒れない「起き上がりこぼし」をモチーフとして、しなやかな安定感と活力を表現しています。

ゆらぎの造形は美しく咲く花にも通じ、転倒予防で人生が明るく美しく花開く様相を象徴します。

シンメトリカルな安定感あるフォルムは、JSFPの組織的な強さと多様性をも表現しています。